

BeoSound 4

ユーザーガイド

目次

ミュージックシステム各部の説明, 4

メニューシステム, 5

ミュージックシステムの使い方, 6

操作パネルを使って、CD、ラジオ、A.MEM などのソースをオンに切り替え操作する方法について

メニューシンボルの説明, 8

メニューに表示されるシンボル記号の説明

メニューの使い方, 9

メニュー操作、入力メニュー設定の方法について

ネーミングの方法, 10

ラジオ局、CD、フォルダ、タイマーに名前を付ける方法について

初めてお使いになる際の設定, 11

初めてお使いになる際の設定アップ手順について

各種のソース、機能、メニューの呼び出し, 12

操作パネルを使って操作できる、機能、メニューについて

A.MEM とメモリーカード, 13

A.MEM ソースの使い方について

ラジオ局のチューニングと変更, 14

ラジオ局のチューニング、並び替え、名前の付け方、削除の方法について

オーディオ CD の設定, 16

CD の再生方法、機能、名前の付け方について

音声の設定, 17

音量、低音、高音、バランス、ラウドネス機能の設定について

オプション設定, 18

ミュージックシステムの基本設定を変更する方法について

ミュージックシステムの自動起動および停止, 19

タイマーに名前を付けて、セットする方法について

ピンコード機能の使い方, 20

ピンコード機能の起動、使い方について

Beo4 リモコンの使用, 21

Beo4 リモコンの使い方、ミュージックシステムのリモコン操作について

セットアップおよびアクセサリについて, 22

ミュージックシステムのセットアップ方法、ガラスドアの取り付け方について

ケーブルの接続, 24

スピーカー、その他の機器の接続方法について

オーディオ/ビデオのセットアップ, 26

ミュージックシステムをビデオシステムに接続する方法について

お手入れ, 27

ミュージックシステムのお手入れについて

索引, 28

ミュージックシステム各部の説明

ディスプレイ

EXTENDED ステータスディスプレイは、常時表示されません。ただし、最初の 1 行は、常に表示されます。ミュージックシステム操作中に、曲の収録時間や CD 名などの情報がディスプレイに表示されます。ディスプレイ設定を EXTENDED に変更すると、現在の再生状態やその他の情報が表示されます。詳細については、18 ページを参照してください。

インジケータライト ...

ミュージックシステムがスタンバイ状態のときは、ディスプレイの下にあるインジケータライトが点灯します。ピンコード保護が有効な場合、ライトが点滅します。この場合、ピンコードを入力すると、システムが起動します。

CD のセット ...

LOAD ボタンを押すと、CD クランプが上昇します。

これで、CD をセットまたは取り出すことができます。CD は、ラベル面を上にしてセットしてください。

LOAD ボタンをもう一度押すと、クランプが元に戻ります。CD ボタンを押すと、クランプが自動的に下がり、再生が開始されます。



ヘッドフォンソケット

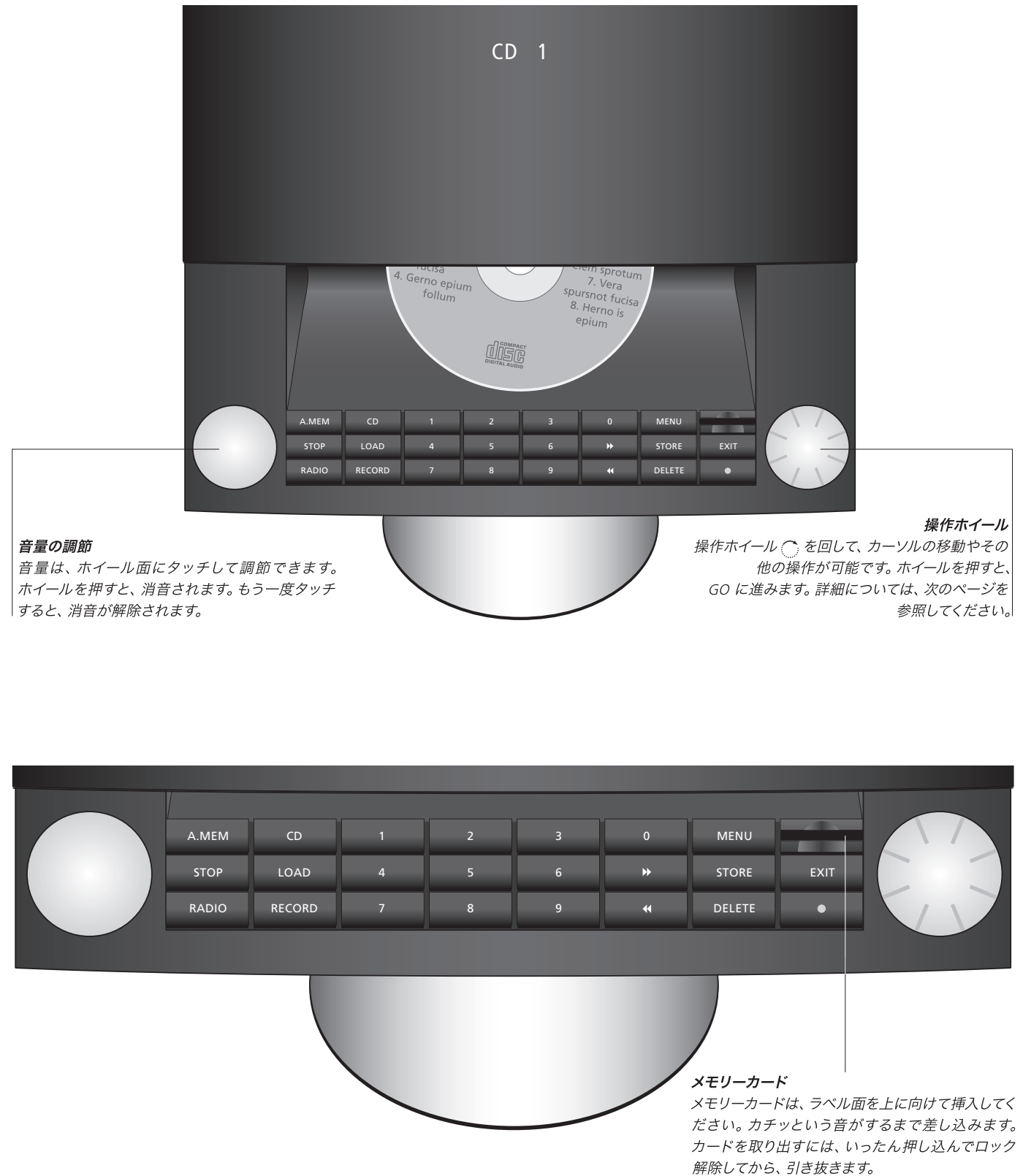
ヘッドフォン接続中は、スピーカーは消音されます。

ヘッドフォンソケット

メニューシステムの概要

ミュージックシステムの使い方

- 1 N.MUSIC
- 2 N.RADIO
- 3 A.AUX
- 4 RANDOM ON/OFF
- 5 REPEAT ON/OFF
- 6 TIMER ON/OFF
- 7 EDIT A.MEM
 - 1 ARRANGE
 - REARRANGE
 - DELETE TRACK
 - DELETE FOLDER
 - 2 RENAME
- 8 PLAY TIMER
 - 1 TIMER 1 PROGRAMMING
 - ON/OFF
 - SOURCE (SOURCE, PROGRAM)
 - START/STOP
 - DAYS
 - NAME
 - 2 TIMER 2
 - 3 TIMER 3 ...
- 9 SHOW CLOCK
- PIN CODE SETUP
 - 1 NEW PINCODE
 - 2 DELETE PINCODE
- FIRST TIME SETUP
- 10 SETUP
 - 1 A.MEM
 - 1 EDIT A.MEM
 - 2 FORMAT MEMORY CARD
 - 3 COPY PROTECTION
 - 2 RADIO
 - 1 AUTO TUNING
 - 2 DAB ONLY AUTO TUNING
 - 3 ARRANGE PROGRAMS
 - DELETE ALL PROGRAMS
 - REARRANGE
 - 4 ADD PROGRAM
 - TUNE (BAND, FM ...)
 - NAME PROGRAM
 - 5 EDIT PROGRAM
 - TUNE (BAND, FM ...)
 - NAME PROGRAM
 - 6 DAB AERIAL ADJUSTMENT
 - 7 DAB DRC
 - 3 NAME CD
 - 4 SOUND
 - 5 OPTIONS
 - 1 SET CLOCK
 - 2 TIMER ON/OFF
 - 3 SELECT LANGUAGE
 - 4 DISPLAY SETUP
 - 5 MENU OPTIONS



A.MEM

A.MEM が起動して、メモリーカードの曲を再生します。

CD

CD の曲を再生します。

STOP

再生を一時停止します。録音を停止するには、A.MEM に続いて STOP を押します。

LOAD

ディスクコンパートメントが開閉します。

RADIO

ラジオが起動します。

RECORD

2 回押しすと、再生中のソース (ラジオ、CD、A.AUX) がメモリーカードに録音されます。

0 - 9

ラジオの設定番号、CD の曲、フォルダ、N.MUSIC* の曲、番号付きメニューを選択できます。メニューに番号を付けることができます。GO に続いて番号ボタンを押すと、A.MEM フォルダの曲が選択されます。

◀

CD の曲を逆方向にサーチします。A.MEM のフォルダを逆方向に戻ります。N.MUSIC* モードでは、カーソルがメニューの左に移動します。メニューシステムのレベルが 1 段階戻ります。

▶

CD の曲を前方向にサーチします。A.MEM のフォルダを前方向に進みます。N.MUSIC* モードでは、カーソルがメニューの右に移動します。

MENU

ソース、機能、メニューがディスプレイに表示されません。

STORE

設定、名前などをメニューに保存します。

EXIT

すべてのメニューが終了します。

DELETE

曲、フォルダ、ラジオの設定を削除します。削除する項目をハイライト表示して、DELETE を 2 回押しします。ネーミング機能で一番後ろの文字を削除します。押し下げると、名前全体が削除されます。

●

ミュージックシステムがスタンバイ状態に切り替わります。



操作ホイールを左右に回すと、曲やラジオ局を選択できます。また、メニュー画面でカーソルを上下に移動させることができます。また、オプションメニューの設定変更もできます。ネーミングメニューの文字間を左右に移動します。

押しすと、サブメニューが表示され、設定やメニュー選択を確定できます。

ラジオを聴いているときに、ホイールを押し下げると、ラジオ局のリストがディスプレイに表示されます。ホイールを回して、ラジオ局を移動できます。ホイールを押すと、選択したラジオ局を受信します。

A.MEM を聴いているときに、ホイールを押し下げると、フォルダのリストがディスプレイに表示されます。ホイールを回して、フォルダを移動できます。ホイールを押すと、選択したフォルダに含まれている曲を見ることができます。

操作パネル

操作パネルを使って、ミュージックシステムの全機能を簡単に操作できます。各ボタンについては、本書の説明を参照してください。

BeoSound 4 は、Beo4 リモコンでも操作できます。詳細については、21 ページを参照してください。

*ご注意! Master Link システムをミュージックシステムにご利用の場合、BeoLink PC 2 または BeoPort をミュージックシステムに接続すると、N.Music または N.Radio のソースを聴くことができます。詳細については、BeoLink PC 2 または BeoPort のユーザーガイドを参照してください。

メニューシンボルの説明

ミュージックシステムのメニューは、複数の機能を果たします。メニューから、各機能の選択やオプション設定が可能です。

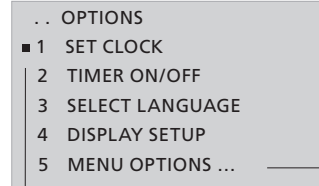
現在設定されている機能が、メニューに表示されます。例: 'RANDOM - ON または OFF'。

左横に示されるシンボル記号により、メニューの内容が分かるようになっていきます。ホイールと矢印ボタンを使って、メニューシステムの別のメニューに移動できます。入力メニューを開始するには、ホイールまたは右矢印ボタンを押してください。


ミュージックシステムにオーディオ/ビデオ機器を接続する場合、接続するテレビやラジオの設定を一部変更する必要があります。

メニューレベルのシンボル ...


- メニューシステムの階層がレベル 1 の場合、メニューの前に点が 1 つ示されます。
- メニューシステムの階層がレベル 2 の場合、メニューの前に点が 2 つ示されます。
- メニューシステムの階層がレベル 3 またはそれ以上のレベルの場合、メニューの前に点が 3 つ示されます。



四角のカーソル ...


■ カーソルを移動してメニューを選択できます。選択されているメニューの前に四角いマークが示されます。ホイール  または ► ボタンを押して、そのメニューを開いたり、機能を切り替えることができます。例: 'RANDOM' のオンオフ切り替え。

▬ 白色の 2 本線は、そのメニューを使用できないことを示しています。ソースを起動した後で、メニューが使用可能な状態になる場合もあります。

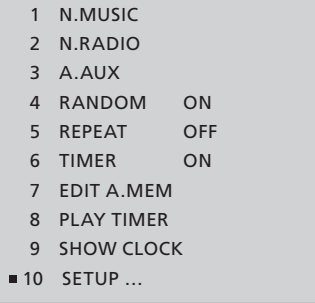
■■■ サブメニューがある場合、メニューの前に点が 3 つ示されます。次のレベルに進むには、ホイール  または ► ボタンを押します。


設定を変更するには ...


MENU を押して、メニューシステムを開きます

ホイール  を回して、SETUP に移動します

ホイール  を押して、SETUP メニューを開始します

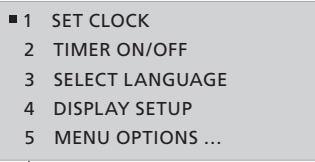



ホイール  を回して、OPTIONS に移動します



ホイール  を押して、OPTIONS メニューを開始します



ホイール  を押して、SET CLOCK メニューを開始します



ホイール  を回して、日時を設定します (番号ボタンでも設定できます)

ホイールまたは  を押して、'YEAR' に進みます。ホイール  を回して、年を設定します

MONTH、DAY に進みます

STORE を押すと、設定が保存されます。保存されると、STORED という文字がディスプレイに表示されます


EXIT を押すと、メニューが終了します



メインメニュー ...

メニューシステムが開きます

MENU

カーソルを上下に動かして、メニューを選択します。ホイールを押して、メニューを開始します 


メニューを逆戻りさせます




◀

メニューを終了します

EXIT

入力メニュー ...

メニュー内を上下に移動して、選択/選択解除、設定の変更が可能です。ホイールを押すと、設定が確定します 

設定を移動します。または、メニュー内でカーソルを移動します。    を押すと補足情報がディスプレイに表示されます

設定が保存され、入力メニューが終了します **STORE**

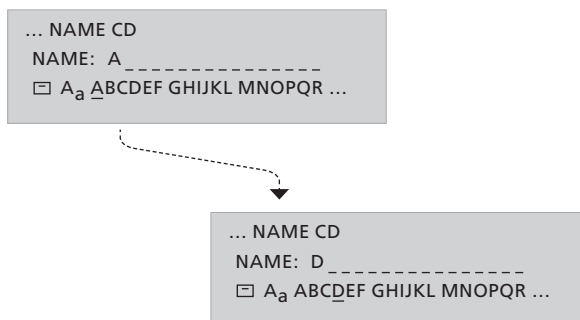
メニューを終了します

EXIT

ネーミングの方法

ネーミング機能を使って、例えば、タイマーや CD に名前を付けると、見つけやすくなります。どのネーミングも方法は同じです。

名前に使用できる文字数は、17 文字です (数字を含む)。ただし、タイマーの名前は、12 文字までに制限されています。



ネーミングメニューの使い方 ...

操作 ... ネーミングメニューを開始すると、カーソルが保存シンボル (□) の下に置かれます。ホイールを回して、文字間を移動できます。ホイールを押すと、文字が選択されます。

保存 ... STORE を押して、名前を保存します。または、カーソルを □ シンボルに移動して、ホイールを押して保存します。

特殊文字 ... 特殊文字を使うには、カーソルを ¶ シンボルに移動して、ホイールを押します。通常の文字に戻るには、カーソルを ¶ シンボルに移動して、ホイールを押します。

大文字と小文字 ... 大文字と小文字を切り替えるには、カーソルを A_a シンボルに移動して、ホイールを押します。

削除 ... DELETE を押すと、最後の文字が削除されます。DELETE を押し下げると、名前全体が削除されます。

数字 ... 数字を入力するには、数字ボタンを押します。

ミュージックシステムを初めてお使いになる際、次の設定手順に従ってください。設定内容は次のとおりです。

- メニューの言語選択
- DAB アンテナの調整*
- ラジオ局のオートチューニング
- 音声のオプション設定
- 日時の設定
- ソース/機能リストの追加。MENU を押すと、ディスプレイに表示されます
- ディスプレイのオプション設定

- 1 SELECT LANGUAGE
- 2 DAB AERIAL ADJUSTMENT
- 3 AUTO TUNING
- 4 SOUND
- 5 SET CLOCK
- 6 MENU OPTIONS
- 7 DISPLAY SETUP

FIRST-TIME SETUP メニューは、ミュージックシステムの電源を初めて入れたときに、自動的に表示されず。

FIRST-TIME SETUP メニューについて ...

(ENTER PINCODE) ... 工場出荷時にピンコードが無効にされていない場合、ピンコードを入力する必要があります。ピンコードは、販売担当店から入手してください。

SELECT LANGUAGE ... メニューの表示に使用する言語を、リストの中から選択します。

DAB AERIAL ADJUSTMENT* ... インジケータを使って、最適な DAB アンテナ位置を探せます。詳細については、15 ページを参照してください。

AUTO TUNING ... 受信可能な FM および DAB* ラジオ局を自動選局します。

SOUND ... お好みの音声パラメータを選択します。

SET CLOCK ... 内蔵クロックの日時を設定します。

MENU OPTIONS ... ソース、機能、メニューをリストに追加します。追加された内容は、MENU ボタンを押すと表示されます。

DISPLAY SETUP ... ラジオ、CD、A.MEM、スタートスのディスプレイに表示される内容を選択できます。

ヒント ...

設定を保存して、次のメニューに進むには、STORE を押します。

初めてお使いになる際に設定したメニューは、各メニューを開いて、いつでも変更することができます。OPTIONS メニューの詳細については、18 ページを参照してください。

ピンコードの変更または解除については、20 ページを参照してください。

ミュージックシステムに他の Bang & Olufsen 製品を接続している場合、日時 (内蔵クロック) の設定を接続されている機器で行わなければならないことがあります。

*ご注意! DAB (デジタルオーディオ放送) ラジオ局は、受信可能な地域で、ミュージックシステムに DAB モジュールが装備されている場合のみ聴くことができます。DAB ラジオ局のチューニングについては、14 ページの「ラジオ局のチューニングと変更」を参照してください。

各種のソース、機能、メニューの呼び出し

MENU を押すと、選択できるソース、機能、メニューが表示されます。

初めてお使いになるときは、MENU ボタンを押すと、SETUP メニューが表示されます。別のソースを設定したり、EDIT A.MEM、TIMER など、頻繁に使用する機能へのショートカットを作成するには、そのソースや機能をリストに追加します。この追加は、OPTIONS メニューから選択できます。詳細については、18 ページを参照してください。

- 1 N.MUSIC
- 2 N.RADIO
- 3 A.AUX
- 4 RANDOM [ON/OFF]
- 5 REPEAT [ON/OFF]
- 6 TIMER [ON/OFF]
- 7 EDIT A.MEM
- 8 PLAY TIMER
- 9 SHOW CLOCK
- 10 SETUP
 - 1 A.MEM
 - 2 RADIO
 - 3 CD
 - 4 SOUND
 - 5 OPTIONS

MENU ボタンを押すと、追加するソース、機能、メニューを呼び出すことができます。追加した内容に従って、リストは更新されます。

N.MUSIC ... N.Music* を選択して開始します。

N.RADIO ... N.Radio* を選択して開始します。

A.AUX ... AUX ソケットに接続されている機器を選択します。ただし、AUX ソケットが有効になるだけです。

RANDOM (ON/OFF) ... CD および A.MEM のランダム再生オンオフを切り替えます。

REPEAT (ON/OFF) ... CD および A.MEM のリピート再生オンオフを切り替えます。

TIMER (ON/OFF) ... タイマーオンオフを切り替えます。

EDIT A.MEM ... メモリーカードを編集できます。

PLAY TIMER ... タイマー設定を編集できます。

SHOW CLOCK ... 現在の時刻がディスプレイに表示されます。

SETUP ... セットアップメニューが開きます。セットアップメニューの詳細については、次のページを参照してください。

ヒント ...

各メニューは、それぞれの番号で選択できます。メニューの番号を押すと、その機能のオンオフが切り替わります。例えば、メニューシステム内の RANDOM ON/OFF 機能の番号が 4 の場合、数字ボタン 4 を押すと機能のオンオフが切り替わりません。

RANDOM 機能を追加したい場合、メニューオプションに追加します。詳細については、18 ページを参照してください。

CD 再生機能の詳細については、16 ページを参照してください。

*ご注意! Master Link システムをご利用で、BeoLink PC 2 または BeoPort をパソコンに接続している場合、BeoSound 4 で N.Music や N.Radio を聴くことができます。詳細については、BeoLink PC 2 または BeoPort に付属のユーザーガイドを参照してください。

メモリーカードの曲を再生するほかに、CD、ラジオ、A.AUX ソースをメモリーカードに録音することができます。

メモリーカードを挿入して、CD などのソースを再生しながら、RECORD を 2 回押すと、録音が始まります。カードの残り時間は、ディスプレイに表示されます。カードが一杯になった場合も、ディスプレイに表示されます。

メモリーカードには、最大 250 個のフォルダを作成でき、各フォルダに最大 250 曲の保存が可能です。フォルダはメモリーカードのルートにのみ置くことができます。曲はフォルダ内に保存しなければなりません。

メモリーカードに録音する際は、BeoSound 4 に新しいメモリーカードを挿入してフォーマットするようにしてください。BeoSound 4 は、SanDisk 製の Multi-Media (MMC) および Secure Digital (SD) のみサポートしています。

ラジオや AUX の音源を録音する場合、録音タイミングが若干遅れて開始します。

```

... A.MEM
1 EDIT A.MEM
    1 ARRANGE
    2 RENAME
2 FORMAT MEMORY CARD
3 COPY PROTECTION
  
```

A.MEM メニューについて ...

EDIT A.MEM ... フォルダまたは曲を選択して、削除、移動、または名前を変更できます。

FORMAT MEMORY CARD ... メモリーカードをフォーマットします。この場合、カードに保存されているデータはすべて消去されます。

COPY PROTECTION ... 録音する CD のコピーガードを無効にします。

メモリーカードへの録音クオリティは、128 Kbps MP3 です。

パソコンのミュージックファイルは、メモリーカードのフォルダ内にコピーしてください。サブフォルダに保存されている曲は再生できません。

メモリーカードの再生は、MP3、WMA 形式に対応しています。DRM (デジタル権利管理) によって保護されている WMA ファイルには、対応していません。MP3/WMA タグは、サポートされていません。

A.MEM メニューを開始するには、A.MEM に続いて MENU を押し、SETUP メニューを開き、A.MEM メニューを選択します。

EDIT A.MEM サブメニューは、18 ページの説明に従って追加している場合に、このレベルでのみ有効です。

ヒント ...

メモリーカードは録音中または再生中に取り出さないでください。カードが破損する原因となります。

メモリーカードのフォルダレベルはひとつです。A.AUX ソースまたはラジオを録音すると、2 つのフォルダ (A.AUX と Radio フォルダ) が作成されます。2 つのフォルダそれぞれに録音が保存されます。このフォルダは、名前を変更できます。名前を変更すると、次に録音する際に、A.AUX と Radio のデフォルトフォルダが自動的に作成されます。

コピーガードされている CD をメモリーカードに録音しようとする、コピーガードを無効にするかどうかの確認メッセージが表示されます。無効にしないを選択すると、録音されません。

フォルダを移動するには、ホイールを回して、移動するフォルダをハイライト表示します。▶ を押すと、選択したフォルダがリストから消えます。ホイールを回して、移動先のリストを選択して ◀ を押すと、そのリストに移動します。

ラジオ局のチューニングと変更

受信可能なラジオ局を自動選局できます。保存可能なラジオ局数は、99局です。

保存したラジオ局は、ラジオ局番号を押すと選局できます。保存されているラジオ局を移動しながら探すこともできます。

ARRANGE PROGRAMS メニューから、選局されたラジオ局の順番を並び替えたり、削除することができます。

文字情報として発信されているラジオ局の名前がディスプレイに表示されることがありますが、名前は変更できません。

```

... RADIO
1  AUTO TUNING
2  DAB ONLY AUTO TUNING
3  ARRANGE PROGRAMS
    1  DELETE ALL PROGRAMS
    2  REARRANGE
4  ADD PROGRAM
    1  TUNE
    2  NAME
5  EDIT PROGRAM
    1  TUNE
    2  NAME
6  DAB AERIAL ADJUSTMENT
7  DAB DRC

```

RADIO メニューを開始するには、RADIO に続いて MENU を押し、SETUP メニューを開き、RADIO メニューを選択します。

ミュージックシステムが DAB モジュール付きの場合、受信可能な地域で、DAB デジタルラジオ局もリストに保存できます。

RADIO メニューについて ...

AUTO TUNING ... ラジオ局をオートチューニングします。

DAB ONLY AUTO TUNING ... DAB ラジオ局を選局します。詳細については、次のページを参照してください。

ARRANGE PROGRAMS ... このメニューを使って、保存されているラジオ局をすべて削除、ラジオ局の順番の並び替え、ラジオ局のリストから個別にラジオ局を削除することができます。

ADD PROGRAM ... 新規のラジオ局を追加して、名前を付けて保存できます。

EDIT PROGRAM ... ラジオ局の受信状態を微調整して、名前を付けて保存できます。

利用できるオプションは、選択しているバンド (FM または DAB) によって異なります。例えば、FM 用の ADD PROGRAM メニューの TUNE オプションは、次のとおりです。

BAND ... 選択されているバンドを示します。FM または DAB を選択できます。

FREQUENCY ... 選択されている周波数を示します。ホイールを回してチューニングできます。

FINE TUNE ... 選局したラジオ局の受信状態を微調整できます。

STEREO ... YES を選択すると、ステレオ音声になります。

ヒント ...

ラジオを聴いているときに、ホイールを押し下げると、ラジオ局のリストがディスプレイに表示されます。

ラジオ局の受信状態が悪い場合、EDIT PROGRAM メニューから微調整できます。ラジオ局の周波数を直接入力して、ラジオ局番号を付けて保存することもできます。

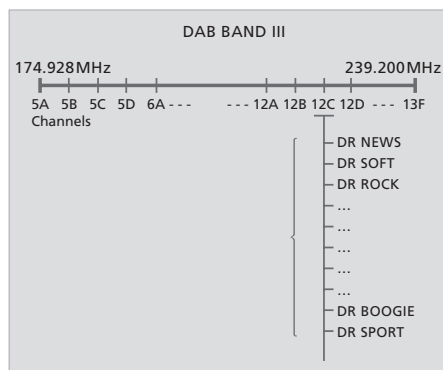
電波が弱く、ステレオ音声を受信できない場合、モノラル音声に自動的に切り替わります。

デジタルオーディオ放送 (DAB) では、アンサンブル* と呼ばれるグループで番組が放送されます。1 つのチャンネルにはアンサンブルが 1 つ含まれ、1 つのアンサンブルには通常 5 から 10 のラジオ番組が含まれます。

DAB 信号が見つかると、その信号に含まれるすべてのラジオ局が登録されます。オートチューニングで 99 局以上のラジオ局が見つかった場合、選局リストを開いて、保存する局を選択してください。

DAB ラジオ局が新たに開局された場合、オートチューニング機能を使って選局できます。ラジオ局が追加され、以前に保存されているラジオ局はそのまま変更されずに残ります。

*DAB ラジオ局によっては、アンサンブルを「マルチプレックス」、番組を「サービス」と呼ぶ場合もあります。



デジタルオーディオ放送 (DAB) では、アンサンブル と呼ばれるグループで番組が放送されます。

DAB AERIAL ADJUSTMENT ... DAB 受信状態は、このメニューのインジケータバーに表示されます。このインジケータバーを見ながら、アンテナの位置を調整してください。信号が十分に強ければ、音声が届えられます。

- インジケータバーは、信号が強ければ右に向かい、弱くなると左に向かいます。
- インジケータバーは、灰色と白色の部分を行き来します。灰色部分の左にインジケータが表示される場合、受信状態が悪く、信号が途切れるおそれがあります。白色部分の右にインジケータが表示される場合、受信状態は良好で、信号が途切れることはありません。

DAB DRC ... DAB ラジオ番組によっては、DRC (ダイナミックレンジコントロール) 機能で音声信号圧縮を調整できる場合があります。圧縮により、周囲のノイズ源が補正されます。

3 つのモードで 12 種類の設定が可能です。

OFF (圧縮しない)

NOM (DAB ラジオ局推奨の圧縮)

MAX (最大圧縮、DAB ラジオ局推奨の 2 倍の圧縮)。

音声信号圧縮が調整されている場合、DRC 機能に対応している DAB ラジオを受信中、ディスプレイの右下に「DRC」と表示されます。DAB DRC メニュー設定は、DRC 放送以外のラジオ局には無効です。

DAB チューニングの結果、プログラムリストに保存されたラジオ局が多すぎる場合 ...

- > 受信可能なラジオ局が STORE PROGRAM メニューに表示されます。
- > ホイールを回して、ラジオ局を選局します。
- > ラジオ局を保存するには、GO を押します。
- > メニューが空の場合、またはラジオ局を保存しない場合は、EXIT を押してメニューを終了します。

ラジオ情報 - BeoSound 4 のディスプレイには、選局中のラジオ局番と局名が文字表示されます。ラジオ情報の文字表示は、DISPLAY SETUP メニューから設定できます。詳細については、18 ページの「オプション設定」を参照してください。

アンテナの位置を調整する前に、受信するチャンネル番号を選択してください。チャンネル番号については、DAB 放送局のウェブサイトなどでお確かめください。

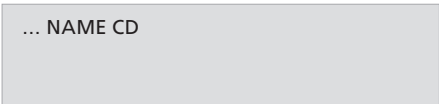
オーディオ CD の設定

CD に名前を付けて保存すると、CD 再生中に、その名前がディスプレイに表示されます。

CD 機能を MENU OPTIONS メニューに追加している場合、その機能をメインメニューから使用できます。詳細については、18 ページを参照してください。

ランダム再生機能を使って、セットした CD の曲をランダム再生できます。リピート再生機能を使って、セットした CD を最大 12 時間まで繰り返し再生できます。

ランダム再生とリピート再生は、一緒に使用することもできます。



... NAME CD

NAME CD メニューについて ...

NAME CD ... セットした CD に名前を付けることができます。CD に名前を付けると、CD 再生中に、その名前がディスプレイに表示されます。

CD メニューを開始するには、CD に続いて MENU を押し、SETUP メニューを開き、NAME CD メニューを選択します。

ヒント ...

CD の名前は、CD 再生中にのみ付けることができます。名前を付けて保存できる CD の枚数は、最大 200 枚です。ネーミング機能の詳細については、10 ページを参照してください。

CD 名のリストが一杯になった場合、新たに CD 名を保存するために、既存の CD 名を削除する必要があります。

音声レベルは、工場出荷時にニュートラルに設定されていますが、お好みの音声オプションを選択して保存できません。

スピーカーをミュージックシステムに接続している場合、音量、低高音レベルの調節、左右のスピーカーバランスを変更できます。

ミュージックシステムは、保存した音量レベルでサウンドを再生します。

また、ラウドネス機能のオンオフ切り替えも可能です。ラウドネス機能をオンにすると、音声によりダイナミックに再生されます。音を小さくして再生する場合などに、低周波と高周波が補正されて、より聴きやすくなります。

- ... SOUND
- 1 VOLUME
- 2 BALANCE
- 3 SET TONE (BASS, TREBLE, LOUDNESS)

SOUND メニューについて ...

VOLUME ... 音量レベルを設定できます。設定可能な最大音量レベルは 75 です。

BALANCE ... 左右のスピーカーバランスを調節できます。

SET TONE (BASS, TREBLE, LOUDNESS) ... 低音と高音の調節およびラウドネス機能のオンオフ切り替えを行えます。

SOUND メニューを開始するには、MENU を押し、SETUP メニューを開き、SOUND メニューを選択します。

ヒント ...

音声オプションの変更を保存しなかった場合、ミュージックシステムの電源を切ると、元の設定に戻ります。

音量レベルは、操作パネルまたは Beo4 リモコンで調節できます。

オプション設定

ミュージックシステムの基本設定は、変更することができます。OPTIONS メニューから、時刻 (内蔵クロック) の設定、タイマー機能のオンオフ切り替え、言語の選択が可能です。

また、MENU ボタンを押したときに、好みのソースと機能をディスプレイに表示するように変更することも可能です。

RANDOM と REPEAT 機能を MENU OPTIONS に追加すると、再生中のソース (CD または A.MEM) の機能のオンオフを切り替えることができます。例えば、CD を聴いているときに、REPEAT 機能をオンにすると、CD が最長 12 時間繰り返し再生されます。

... OPTIONS

- 1 SET CLOCK
- 2 TIMER
- 3 SELECT LANGUAGE
- 4 DISPLAY SETUP
 - 1 RADIO
 - 2 CD
 - 3 A.MEM
 - 4 STATUS (DEFAULT/EXTENDED)
- 5 MENU OPTIONS

OPTIONS メニューについて ...

SET CLOCK ... 日時 (内蔵クロック) を設定します。
- このメニューは、ミュージックシステムをテレビに接続している場合のみ有効です。

TIMER (ON/OFF) ... タイマー機能のオンオフを切り替えます。ON を選択すると、タイマー起動時に、ミュージックシステムに接続されたスピーカーからサウンドが再生されます。

SELECT LANGUAGE ... 言語リストの中から、ディスプレイの表示に使用される言語を選択します。

DISPLAY SETUP ... ラジオ、CD、A.MEM を使用中に表示される、情報のタイプや内容を選択できます。RADIO、CD、A.MEM では、ディスプレイの一番上に表示する内容 (ラジオ局名や CD 名など) を設定できます。STATUS では、ディスプレイ情報の表示を一時的 (操作中のみ) または常時に設定できます。

MENU OPTIONS ... MENU を押したときに、表示されるリストに、追加の機能、メニューを設定できます。

OPTIONS メニューを開始するには、MENU を押し、SETUP メニューを開き、OPTIONS メニューを選択します。

ヒント ...

初めてお使いになるときに、MENU ボタンを押すと、SETUP メニューが表示されます。

ミュージックシステムに他の Bang & Olufsen 製品を接続している場合、時刻の設定を接続されている機器から行わなければならないことがあります。

ミュージックシステムとテレビを接続している場合、タイマーはテレビから設定します。BeoSound 4 で設定する場合は、TIMER メニューを ON にします。設定時に、スピーカーを BeoSound 4 に接続しておく必要があります。

言語を誤って設定した場合、MENU を押して言語メニューを開始します。最後のメニューに移動して、ホームボタンを押し、5 に続いて 3 を押します。

ミュージックシステムは、毎週同じ曜日の同じ時間に自動起動/停止させることができます。

ミュージックシステムには、最大 8 件のタイマーを登録できます。例えば、目覚まし代わりにお好みの CD やラジオ局にタイマーをセットし、夜には別のソースが指定した時間に起動するように設定できます。平日、週末、休日に別々の設定を行うこともできます。

タイマーには名前を付けることができます。また、それぞれのタイマーのオンオフを個別に切り替えこともできます。

タイマー設定は、いつでも変更できます。

PLAY TIMER ...

- 1 TIMER 1
 - 1 ON/OFF
 - 2 SOURCE (PROGRAM)
 - 3 START/STOP
 - 4 DAYS
 - 5 NAME
- ...
- 8 TIMER 8

PLAY TIMER メニューは、OPTIONS メニューに追加しないと選択できません。

TIMER メニューについて ...

ON/OFF ... 設定した各タイマーのオンオフを切り替えます。

SOURCE ... タイマーに使用するソースを選択します。ラジオをソースに選択する場合、プログラム番号も設定してください。A.MEM をソースに選択する場合、フォルダ番号も設定してください。

START/STOP ... タイマーを起動/停止する時間を設定します。

DAYS ... タイマーを起動する、曜日を選択します。矢印ボタンで曜日を変更できます。ホイールを左に回すと、日付設定がいったん無効となります。ホイールを押して、日付を選ぶと、次の日に移動します。

NAME ... 各タイマーに名前を付けます。

ヒント ...

ミュージックシステムを停止するには、ソースのタイマーを STANDBY にします。

例えば、タイマーを月、火、木と設定すると、毎週同じ曜日にタイマーが起動します。

ミュージックシステムをタイマー付きの他の Bang & Olufsen 製品とを接続している場合、その機器のタイマー設定を付属のガイドに従って設定する必要があります。BeoSound 4 にも同じ設定を使用する場合、BeoSound 4 のタイマー機能を 12 ページの説明に従って有効にする必要があります。

タイマー機能を使用する場合、内蔵クロックの時間を正しく設定してください。詳細については、18 ページを参照してください。

ピンコード機能の使い方

ミュージックシステムの電源プラグを電源コンセントから抜いて、約 30 分以上放置すると、操作パネルからピンコードを入力しないと起動できなくなります。

ピンコードを入力しないと、3 分後にスタンバイ状態に自動的に切り替わります。

ピンコードは、変更できます (3 時間内に 5 回変更可能)。

ピンコード機能は、有効あるいは無効に選択できます。ピンコードを削除すると、ピンコード機能は解除されます。

PINCODE SETUP ...

- 1 NEW PINCODE
- 2 DELETE PINCODE

PINCODE SETUP メニューについて ...

NEW PINCODE ... ピンコードを入力または変更します。

DELETE PINCODE ... ピンコード機能を解除します。

マスターコード入力を開始するには ...

- > ピンコード入力が必要な場合、◀ を押し下げて、マスターコード入力を開始します。
- > マスターコードを入力します。
- > マスターコードを入力すると、ピンコード機能が解除され、ミュージックシステムを使用できる状態になります。ピンコード機能を有効にするには、新しいピンコードを入力する必要があります。

ピンコードメニューを呼び出すには、MENU を押し、◀ を 2 回押し、STOP を選択します。

ヒント ...

正しくないピンコードを 5 回入力すると、ミュージックシステムの電源が切れ、3 時間経たないと再起動できなくなります。

この機能を初めて使用する際に、UNLOCK SYSTEM がディスプレイに表示される場合、PIN コードを Bang & Olufsen 販売担当店から入手してから、先に進んでください。

ピンコードを忘れた場合、Bang & Olufsen 販売担当店に連絡して、マスターコードの入手をご依頼ください。ミュージックシステムを再起動するには、マスターコードが必要です。

ミュージックシステムを他の Bang & Olufsen 製品と一緒にお使いの場合、各製品の操作については、それぞれに付属のガイドを参照してください。

*Beo4 のその他のボタンを表示するには、それらを Beo4 リストに追加する必要があります。RANDOM および REPEAT を Beo4 に追加して、これらの機能を使用できます。A.AUX を追加すると、AUX ソケットに接続されているその他のソースに切り替え可能となります。詳細については、Beo4 に付属のユーザーガイドを参照してください。

ラジオ局または曲を順番にサーチします。Beo4 のディスプレイに RANDOM または REPEAT を表示させて、▲を押すと機能がオンになり、▼を押すとオフになります



CD の曲をサーチします。フォルダ間を移動します。メニュー内を左右に移動します



再生を開始します。ソースを起動して設定を確定します。Beo4 のディスプレイに表示される (例えば CLOCK) 機能をオンにします

GO

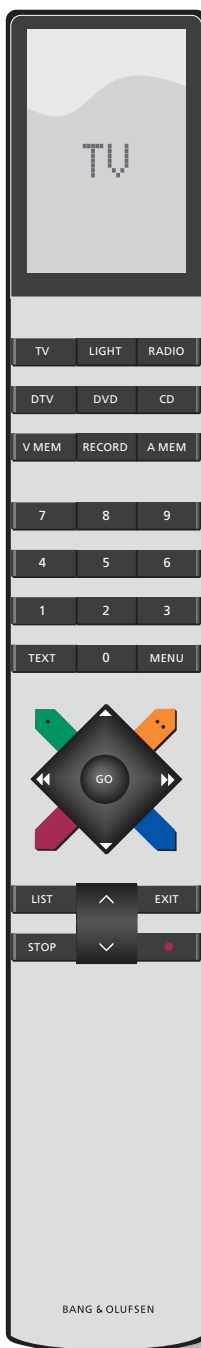
RANDOM、REPEAT、N.RADIO、N.MUSIC* など、その他のボタンを表示します

LIST

RANDOM
N.MUSIC

CD または A.MEM の再生を一時停止します

STOP



RADIO ラジオをオンに切り替えます

CD CD をオンに切り替えます

A.MEM セットしたメモリーカードの再生を開始します

0-9 ラジオ局番号、曲番号を入力できます。数字ボタンを使って、各数字に割り当てられたメニュー項目を選択できます

MENU メニューシステムを開始します

EXIT メニューシステムを終了します

∧ 音量を調節します。真ん中を押すと、スピーカーを消音します。もう一度押すと、音声が復帰します

● ミュージックシステムをスタンバイ状態に切り替えます

ミュージックシステムのセットアップ

ミュージックシステムのセットアップは、以下の手順に従って行ってください。

- 1 ミュージックシステムを室内に設置します。
- 2 スピーカーと補助機器を接続します。
- 3 ケーブル類をミュージックシステムのソケットパネルに接続します。この段階では、電源プラグを電源コンセントに接続しないでください!
- 4 ケーブルカバーグループのケーブルを調整して、ケーブルガイドを取り付けます。
- 5 ガラスドアを取り付けます。
- 6 製品の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

注意

ミュージックシステムのセットアップ、設置、接続は、本書の説明に従ってください。損傷を避けるため、製品には Bang & Olufsen の専用スタンドまたはブラケットをご使用ください。

ミュージックシステムは、堅く、平らな場所に設置します。できれば、テーブルやサイドボード、専用スタンドなど、固定された場所の上に配置することをお勧めします。

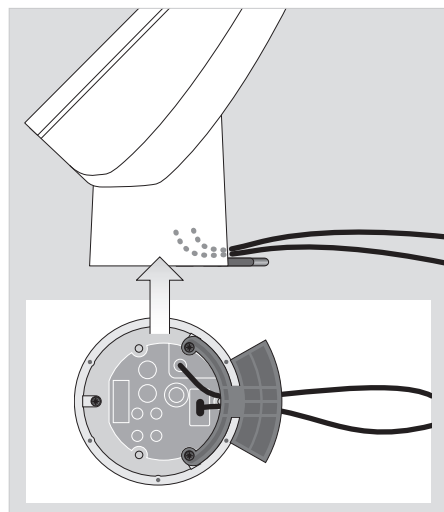
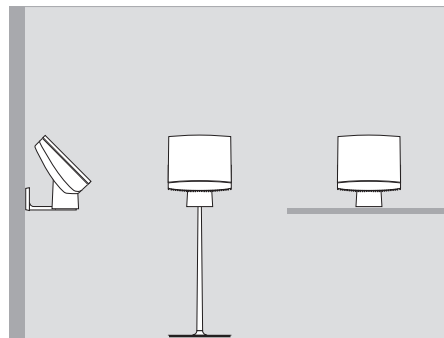
ミュージックシステムは、必ず湿気を避けた室内環境で、室温 10 – 40 °C (50 – 105 °F) の範囲内で使用してください。

直射日光を避け、ストーブなど熱の発生源から離して設置してください。

本体の温度が上昇しすぎないように、ミュージックシステムの左右に 5 cm (2") 以上の空間を確保してください。上部には、ガラスドアを開閉できるだけの空間が必要です。

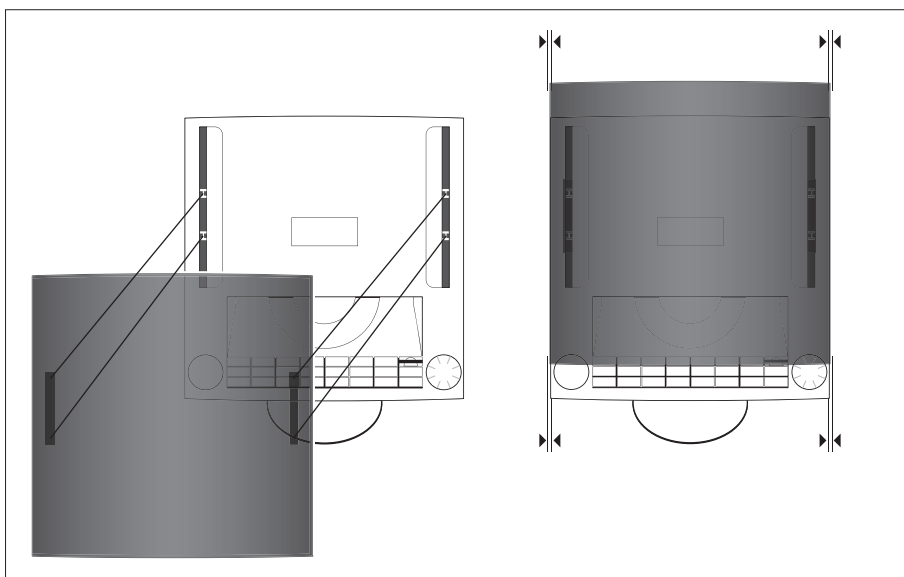
オプションのウォールブラケットを使用してミュージックシステムを壁に掛ける場合、必ず正しいサイズおよび種類のネジとプラグを使用して、ウォールブラケット (オプション) と BeoSound を取り付けてください。ネジとウォールプラグの種類は、壁の材質や構造を考慮し、重さに耐えられるものを選択してください。

すべてのケーブルの接続が済むまで、接続した製品の電源を入れないでください。



ケーブルガイドとケーブル: ミュージックシステムをそのまま設置する際は、ケーブルをケーブルガイドに通してください。電源ケーブルをケーブルガイドに通さないと、ソケットから外れる恐れがあります。

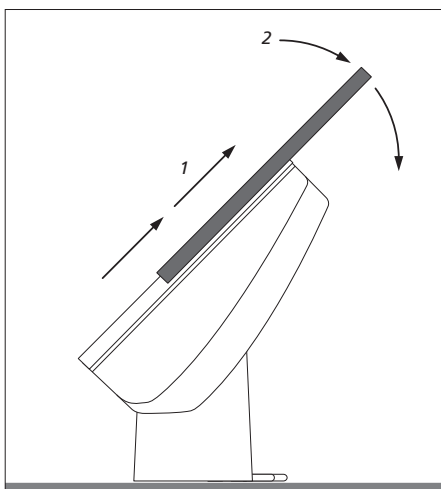
ミュージックシステムを専用スタンドまたはブラケットに取り付ける場合、ケーブルガイドを外してください。ミュージックシステムを専用スタンドまたはブラケットに取り付ける方法については、専用スタンド/ブラケットに付属の説明書を参照してください。



ガラスドア: ガラスドアを取り付け中は、ミュージックシステムの電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。

- > ガラスドアを取り付ける際は、ガラスドアの取り付け部位がミュージックシステムの受け口に合わさるように位置決めしてください。
- > ガラスドアの左右の縁がミュージックシステムの左右の縁に合わさるようにしてください。
- > ガラスドアをカチッという音がするまで(受け口に)ゆっくりと押し込んでください。

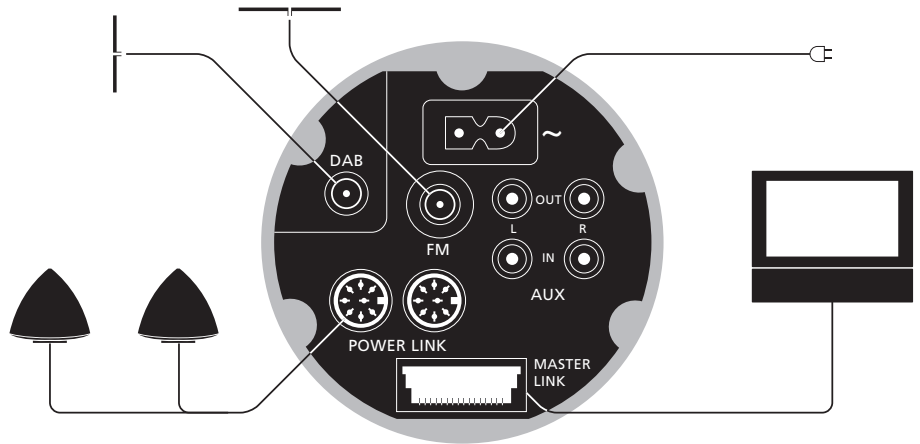
カチッという音がすれば、ガラスドアは正しく取り付けられています。ガラスドアは、裏面を掃除する場合などに、取り外すことができます。取り外すには、ガラスドアを開き、ミュージックシステムの電源プラグを電源コンセントから外します。ガラスドアの上の部分をやっくり押して、取り外してください。



ケーブルの接続

ソケットパネルは、ミュージックシステムの底面にあります。ソケットパネルの記号表記に従って、各ケーブルを接続してください。

電源ケーブルは、その他の接続がすべて終わってから接続してください。



アンテナ接続 - FM/DAB*

まず最初に DAB のアンテナを接続してから、その他のアンテナを接続してください。

- DAB のアンテナは、DAB と書かれたソケットに接続します。FM のアンテナは、FM と書かれたソケットに接続します。

FM ダイポールアンテナを使用する場合 ...

- ラジオ局をチューニングするには、アンテナを左右に動かして、最適に受信できる位置を決めます。

DAB アンテナを使用する場合 ...

- アンテナの配置については、15 ページの説明に従って、DAB AERIAL ADJUSTMENT メニューを使用してください。このメニューにより、DAB 信号の強さを知ることができます。
- アンテナは、吊り下げるか垂直方向に配置するようにしてください。

例えば、ミュージックシステムの設置にウォールブラケットなどを使う場合、信号が最も強い場所を見つけてから、最終的な設置場所を決めてください。

*ご注意! DAB ソケットが有効なのは、DAB モジュール内蔵のミュージックシステムのみです。

電源の接続 - ~

その他の接続がすべて終わってから、電源コードのプラグをソケットパネルの ~ マークに差し込みます。ミュージックシステムの電源を完全に切るには、電源プラグを電源コンセントから外します。電源コードのプラグは、電源コンセントに直ぐに差し込めるようにしておいてください。

スピーカーの接続 - Power Link

スピーカーを、Power Link と書かれたソケットに接続します。詳細については、BeoLab スピーカーに付属のユーザーガイドを参照してください。

BeoLab スピーカーの *L・R・LINE* スイッチを使って、スピーカーの *L* (左) および *R* (右) 設定を忘れないようにしてください。

ヘッドフォンをミュージックシステムに接続すると、スピーカーは消音されます。

大音量で長時間聴くのはおやめください。聴覚障害の原因となります!

Master Link の接続

Master Link ケーブルは、ミュージックシステムのソケットパネルの Master Link と書かれたソケットに差し込み、テレビに接続します。

Master Link ケーブルは、BeoLink システムで別の部屋に音源を配信する場合にも使用します。

その他の機器の接続 ...

AUX IN L - R

レコードプレーヤーなど、その他の機器を接続します。

AUX OUT L - R

ミニディスク (MD) など、その他の機器を接続します。

オーディオ/ビデオのセットアップ

ミュージックシステムは、Master Link ケーブルを使って、その他のオーディオ/ビデオシステムと一緒に使用することもできます。

ミュージックシステムとビデオシステムを接続する場合、両方が正しく機能するように、設定する必要があります。このページの説明に従って、Beo4 のオプションを正しく設定してください。

Beo4 リモコンを使って、オーディオシステムのオプションを設定するには ...

- > • ボタンを押し下げながら、LIST を押します。
- > 両方のボタンを離します。
- > Beo4 のディスプレイに OPTION? と表示されるまで、LIST を繰り返し押します。OPTION? と表示されれば、GO を押します。
- > Beo4 のディスプレイに A.OPT と表示されるまで、LIST を繰り返し押します。表示されれば、番号 (0、1、2、5、6 のいずれか) を入力します。

V.OPT を選択して、ビデオシステムのオプションを設定します。

ミュージックシステムに設定可能な 5 種類のオプション:

Option 0. ビデオシステムをミュージックシステムに接続しているが、スピーカーはミュージックシステムに直接接続していない場合。

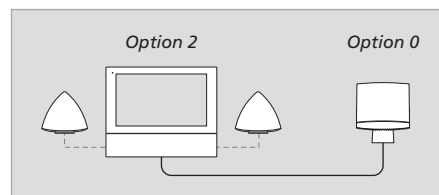
別のオプション設定から 0 に変更する場合、まず 1 を選択してから 0 に変更してください。

Option 1. ビデオシステムをミュージックシステムに接続して、スピーカーもミュージックシステムに接続している場合。

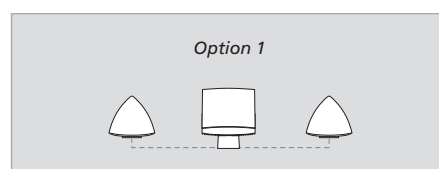
Option 2. 別の部屋に置いたビデオシステムをミュージックシステムに接続する場合。

Option 5. ミュージックシステムを Bang & Olufsen テレビと一緒に使用する場合。

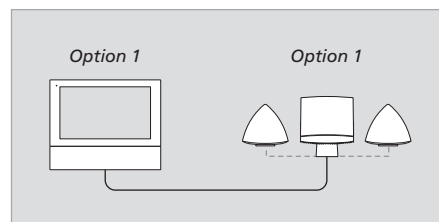
Option 6. ミュージックシステムと Bang & Olufsen テレビを一緒に使用しない場合。



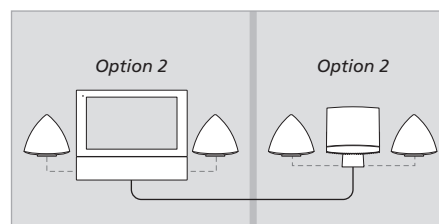
オーディオ/ビデオシステム ビデオシステムをミュージックシステムに接続して、スピーカーをビデオシステムに接続している場合、本書に記載されている機能の一部(例えば、タイマー設定など)を使用できないことがあります。



ミュージックシステムのみを使用。



オーディオ/ビデオシステムをミュージックシステムに接続。



別の部屋にあるオーディオ/ビデオシステムをミュージックシステムに接続。

お手入れ

ミュージックシステムの通常のお手入れは、お客様にて行ってください。お手入れの際は、以下の説明に従ってください。

ガラスドアのお取り扱いには、特に注意が必要です。ひびが入ったり、欠けたりしてガラスドアが破損した場合、直ぐに交換してください。そのまま使用すると、怪我の原因になります。ガラスドアの交換品は、Bang & Olufsen 販売店にご注文ください。

お手入れ

ミュージックシステムをお手入れする際は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。また、ガラスドアが開閉しないようにしてください。ミュージックシステムの電源を切っている間、ガラスドアは手で開け閉めできます。力を入れなくても、簡単に開閉できます。

表面の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

必要に応じてガラスドアを取り外して、裏面を掃除してください – 本書の 23 ページを参照してください。ガラスドアのお手入れには、ガラス用クリーナーをお使いください。

ミュージックシステム、専用スタンド、ブラケットのお手入れには、アルコールやその他の溶剤は絶対に使用しないでください。特殊クリーニングを施した CD は、ミュージックシステムにセットしないでください。

メモリーカード

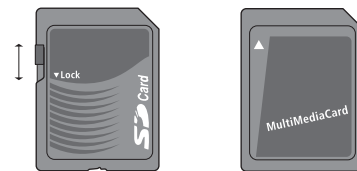
メモリーカードは丁寧にお取り扱いください。乱暴に扱うと、破損する恐れがあります。ミュージックシステムから取り出したカードは、必ず付属のカードリッジに保管するようにしてください。メモリーカードを書き込み禁止にしていると、録音および再フォーマットできません。

再生に不具合が生じる場合、メモリーカードの再フォーマットをお勧めします。メモリーカードの内容は、再フォーマットするとすべて消去されますのでご注意ください。



CD の取り扱い: CD に指紋やごみ、汚れが付いた場合は、毛羽立ちのない乾いた柔らかい布で拭き取ります。

CD のクリーニングには、溶剤や研磨剤の含まれていないクリーナーを使用してください。また、CD は上の図のように、中心から縁に向けて真っ直ぐに拭いてください。高温や湿気を避け、CD の表面には文字を書かないでください。



SD カードは、スライダを下に動かすと、書き込み禁止にできます。

索引

A.MEM

メモリーカードからの削除, 13
A.MEM の再生, 7
メモリーカードのセット, 6
フォルダ/曲に名前を付ける, 10
ランダム再生, 18
カードに録音する, 13
リピート再生, 18

オーディオ/ビデオシステム

ミュージックシステムとビデオシステム
の接続, 25
オプション設定, 26

Beo4 リモコン

Beo4 リモコンの使用, 27

ケーブル

ケーブルの準備, 23
ケーブルの接続, 24

CD プレーヤー

CD のセット, 4
CD に名前を付ける, 10
CD の再生, 7
曲をランダム再生する, 18
CD のリピート再生, 18

お手入れ

CD の取り扱い, 27
ミュージックシステムのお手入れ, 27

クロック

内蔵クロックの設定入力, 18

接続

アンテナの接続, 24
ヘッドフォンの接続, 4
スピーカーの接続, 25
ミュージックシステムとビデオシステム
の接続, 25

お問合せ先

Bang & Olufsen へのお問い合わせ, 30

DAB ラジオ局

DAB 音声信号圧縮 – DAB DRC, 15
DAB アンテナの調節, 15
DAB アンテナソケット, 24
DAB ラジオ局のチューニング, 15

削除

CD の名前を削除する, 16
ラジオ局を削除する, 14
メモリーカードのフォーマット, 13

ディスプレイ

表示情報の説明と変更方法, 4 と 18

初めてお使いになる際の設定

初めてお使いになる際のセットアップ手順, 11

ヘッドフォン

ヘッドフォンの接続, 4

インジケータライト

インジケータライト, 4

言語

ディスプレイ表示に使用する言語, 18

スピーカー

スピーカーの接続, 25

お手入れ

ミュージックシステムのお手入れ, 27

Master Link

オーディオ/ビデオのセットアップ, 26
オプション設定, 26

メモリーカード

メモリーカードのセット, 6
互換性のあるメモリーカード, 13
メモリーカードのフォーマット, 13
メモリーカードに録音する, 13
メモリーカードの書き込み禁止, 27

メニュー

メニューシンボルの説明, 8
メニューの使い方, 9

ネーミング

CD に名前を付ける, 10
フォルダに名前を付ける, 10
ラジオ局に名前を付ける, 10

N.Music

N. MUSIC の再生, 12

N.Radio

N.RADIO の再生, 12

操作パネル

操作パネルの概要, 6

オプション

ミュージックシステムのオプション設定, 26

ピンコード

ピンコード機能を有効にする, 20
ピンコードの変更/削除, 20
ピンコードを忘れた場合, 20
マスターコードの開始, 20
ピンコードの使用, 20

設置

注意, 22

ラジオ

ラジオ局の削除, 14
ラジオ局の移動, 14
ラジオ局に名前を付ける, 10
ラジオをオンにする, 7
ラジオ局のチューニング, 14

ランダム

曲をランダム再生する, 18

リピート

CD をリピート再生する, 18

設定

時刻 (クロック) の設定, 18
音量の調節, 17

ソケットパネル

ソケットの説明, 24

音声

音量の調節, 6
ステレオ/モノラル音声の切り替え, 14
音量、低音、高音、ラウドネスの調節, 17

タイマー

内蔵クロックの設定入力, 18
ミュージックシステムの自動起動/停止, 19
タイマー再生機能をオンにする, 19
タイマーの表示、変更、解除, 19

お客様各位 ...

Bang & Olufsen は、お客様のご要望にお応えすることを第一に、製品を設計および開発しています。皆様にとって、使いやすく、快適な製品を提供できるように、日々努力しています。

弊社製品に関するお客様のご意見をお待ちしております。お客様が重要と感じられたことを、良い点でも悪い点でも、ぜひお知らせください。今後の製品の参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございます!

宛先: Bang & Olufsen a/s
Customer Service
Peter Bangs Vej 15
DK-7600 Struer

Tel/Fax: Bang & Olufsen
Customer Service
+45 96 84 45 25 (phone)
+45 97 85 39 11 (fax)

Email: www.bang-olufsen.com



廃電気電子機器指令 (WEEE) – 環境保護

欧州議会と欧州閣僚理事会は、廃電気電子機器指令を施行しました。この指令は、電気電子機器の廃棄予防および再使用・リサイクルの促進を目的とし、生産者、販売者、消費者のいずれもが責任を負う必要があります。

WEEE 指令では、環境保全および再使用のために、生産者と消費者の双方に対して、電気電子機器・部品を安全な方法で廃棄回収することが義務付けられています。電気電子機器・部品は、家庭ごみとして処分できません。分別回収して廃棄する必要があります。

再使用・リサイクルのために回収の必要がある電気電子機器には、マークが表示されています。

各地域で有効な回収手段を利用することが、環境や人々の健康の保護、資源の有効活用に役立ちます。電気電子機器の廃棄回収により、機器に含まれる有害物質による汚染を未然に防ぐことができます。

各地域での廃棄方法については、Bang & Olufsen 販売店にご相談ください。



本装置は、EEU 規定 89/336 および 73/23 に適合しています。

**CLASS 1
LASER PRODUCT**

CD プレーヤーの黒と黄色のラベルは、装置にレーザー システムが搭載されていることを警告しています。また、クラス 1 レーザー製品であることを示しています。CD プレーヤーに不具合が生じた場合、Bang & Olufsen 製品取り扱い店にお問い合わせください。本製品の分解修理は、必ず専門のサービス担当者にお任せください。



注意: 本書に記載されていない操作、調整、手順を行うと、レーザー光線を浴びる危険があります。

本製品には、著作権保護技術が使用されています。著作権は、米国特許 4,631,603、4,577,216、4,819,098、4,907,093、6,516,132 およびその他の知的所有権によって保護されています。この著作権保護技術は、Macrovision による認可を受けない限り、使用できません。Macrovision による認可の無い限り、ご家庭または個人的な使用に限られます。リバースエンジニアまたは逆アセンブリは禁じられています。

技術仕様、機能、使用方法は、事前の予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

